※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	課題研究	単位数	２	年次	３～４
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究日誌						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前期は各自が選択した資格取得に向けた学習を進め、後期は各自が設定した「テーマ」をもとに調査・研究し、内容をまとめる。いずれにしても、自分の進路・興味・関心をもとに検定種目や「テーマ」を設定することが重要である。特に、後半の「テーマ」に関しては、深く掘り下げた調査・研究をもとに、自分の考えやまとめを人前でプレゼンテーションする機会を設ける。

２　学習の到達目標

商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	課題研究の授業内容について理解し、課題研究に関心を持ち、自ら進んで課題を設定し、課題解決しようとしているか。	自らの計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をしているか。収集した情報を正しく精査し判断材料としているか。日誌に課題解決を分かりやすく記入しているか。	資格取得では、検定試験に合格できるだけの知識・技能が身についたか。 調査・研究・発表では、調査方法、研究方法、発表方法が身についたか。	自ら設定した課題については、一定の解決が得られたか。 一般教養の小テストの内容を理解したか。
評価方法	授業態度 資格取得の取組み 提出物 発表の態度	授業態度 発表の態度	授業態度 資格取得への取組み 提出物 発表の態度	授業態度 資格取得の取組み 提出物 発表の態度 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	月	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	4	オリエンテーション 「職業資格の取得」について	○				a:「職業資格の取得」の授業について理解させる。	授業態度 資格取得 活動日誌 小テスト
		取得資格の設定	○	○			a:各自の課題及び関係分野を確認させる。 b:自らが目標とする職業資格を決めさせる。	
	5 6 7 8	検定勉強 一般教養の学習 各種検定試験の受験	○	○	○	○	a:自発的学習を促進し、指導助言することを心掛ける。自らが立案した学習計画に意欲的に取り組んでいるか。 b: 知識・技術の到達度から、どのような学習の必要性があるのかを分析し、その後の課題と授業計画を設定する。 c: 知識・技術の到達度を知る。 一般教養の d:就職試験や入学試験の補助的な学習として、一般教養のドリルを学習する。また、各種検定試験を受験する	
後期	9	オリエンテーション 「調査・研究・発表」について	○				a:「調査・研究・発表」の授業について理解させる。	授業態度 発表の態度 活動日誌 小テスト
	10	テーマ設定	○	○			a: 各自の課題及び関係分野を確認させる。 b:調査・研究の対象となる「テーマ」を決める。	
	11 12	調査・研究 書籍から 新聞から インターネットから 行政資料から	○	○	○	○	a:「テーマ」の調査・研究の進め方を計画する。 b:主にインターネットの情報の正確性を大事にする。 c:調査方法や分析方法などについて検討する。 d:これまでの調査・研究から、一定の知識や理解を得ることができたか。	
	1 2 3	研究発表 パワーポイントによる 模造紙による	○	○	○	○	a:「テーマ」の発表に対して、意欲をもってできたか。 b:「テーマ」に関する発表の準備をする。 c:パワーポイント作成や人前でのジェスチャーなど発表方法の仕方が身についたか。 d:発表する機会を通じて、正確に伝わったのかを認識する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。